

丘の上の
双眼鏡
から何が見える？

北九州市立美術館で



博物館浴[®]しよう!

北九州市立美術館 × 九州産業大学 連携事業



現在、高齢化やコロナ禍の影響もあり社会全体でメンタルヘルスの向上が求められています。そうした中で、文化芸術鑑賞が人々の心身の健康に良い影響を与えることが、多くの研究で明らかになってきており、関心が高まっています。

今回は、高齢者の皆さんを対象に北九州市立美術館の魅力を「見る」「歩く」博物館浴[®]の視点で楽しみます。合わせて体験前後の生理・心理測定から、リラックス効果を科学的に分析する研究の現場をご紹介します。

開催日時

2025年10月9日(木)
10:00~12:30

講師

九州産業大学 特任教授

緒方 泉氏

場所

北九州市立美術館

戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 TEL 093-882-7777

定員

20名

応募条件

20分程度のウォーキングができる原則65歳以上の方

申込方法

9/1(月)~9/15(月)必着

①往復はがき ②電子申請(市のグラファー)

※申込1件につき4名まで

電子申請はこちら



北九州市は、全国 20 の政令指定都市の中で高齢化率（31.42%、令和 6 年総務省調べ）がトップです。現在、国内では高齢化が進み、健康寿命の延伸が重要な課題となっています。また、新型コロナウイルス禍を経て、働く人々の不安やストレスが増加し、社会全体でメンタルヘルスの向上が求められています。そうした中で、文化芸術鑑賞が人々の心身の健康に良い影響を与えることが、多くの研究で明らかになってきており、関心が高まっています。

九州産業大学は、地域の医療・福祉機関と連携した、地域住民のための「博物館浴®（博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動）」の研究を進めています。具体的には、作品を鑑賞する前後に、生理測定（血圧、脈拍）、心理測定（感情評価）を行い、リラックス効果を判定します。2020 年 9 月から始め、現在までに全国 99 館、1,542 名の科学的データを集めています。研究の結果、①高血圧の人の血圧が下がる②10 分、20 分の見学でもリラックス効果に影響があるなどが分かってきました。

博物館（美術、歴史、考古、民俗、自然史などを扱う施設の総称）に行くと、「広くて落ち着く」「絵を見ると、うっとりする」などの声を聞くことがあります。しかし、これは個人の感想で、科学的な根拠はありません。

今回は、地域の皆さんを対象に、美術の森公園にたち、「丘の上の双眼鏡」の愛称で親しまれる、北九州市立美術館の魅力を「見る」「歩く」博物館浴®の視点で楽しみます。合わせて体験前後の生理・心理測定から、リラックス効果を科学的に分析する研究の現場をご紹介します。

「知的刺激、学び」の場だけでなく、あなたの「健康・ウェルビーイング」を支える場という、新たな北九州市立美術館の価値創造を一緒に考えませんか。



当日プログラム

- 10:30 集合（芝生広場）
- ▼
- 10:35 受付 名簿確認、シール貼り付け
- ▼
- 10:40 移動 美術の森公園入口
- ▼
- 10:50 実験方法の説明
- ▼
- 11:00 実験開始 美術の森公園散策
- ▼
- 12:15 鑑賞終了 芝生広場へ移動
- ▼
- 12:30 終了 シール回収、解散



● 留意点

実験参加者の個人データは、研究目的以外の使用や第三者に提供することはありません。また全ての自律神経測定機器による計測は、非侵襲により、身体を傷つけることなく行う実験手法であり、痛みなどはありませんのでご安心ください。

● 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本プログラムでは、参加者の自律神経の状態に関するデータを収集するため、九州産業大学「ヒトを対象とした研究に関する倫理委員会」の承認を得た上で実施します。具体的には、参加者に対してプログラムの内容について、口頭で説明し、同意をいただいた後に実施します。

なお、収集したデータについては、個人情報特定されないよう匿名化した上で、専用の記録媒体に保存し、研究代表者・共同研究者・研究協力者以外が見ることができないようにします。